

関係者各位

## 2017年5月のスリランカの洪水

2017年5月に、スリランカの一部の地区は70年ぶりの大きな災害に直面しています。60万人以上の住民が洪水あるいは豪雨の影響を受けています。25の行政地区の内、15は甚大な被害を受けています。220人以上が死亡し、100人以上が行方不明になっています。被災者の4分の1は学齢期の子どもです。

多くの子どもが教育設備を失っています。これは史上最大の災害であり、多くの子どもは実質的にホームレス状態に追い込まれています。教科書、制服、本学年のノートを含め、全てを失っています。最も多くの被害はラトナプラ地区で起きています。

ソーシャルワーカーとして、この状況をととても心配し、国際的にソーシャルワーカーの仲間と手をつなぎ、通学の子どもたちを支援するように呼びかけております。

教科書、制服、その他の学習用品を提供できればと願っております。さらに、子どもたちはノートのコピーも必要です。なぜならば、多くの子どもたちは8月に高校入学試験と5級奨学金試験を受ける予定であるからです。

教育の必需品を与え、子どもたちを支援できるように、我々を支えるために呼びかけるように、全ての仲間と国際ソーシャルワーカー連盟の会員にお声かけをしております。我々のモットーは「立ち上がれるように手を伸ばして下さい」です。

この問題に関心を寄せていただき、誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。どうぞ宜しくお願い致します。

スリランカ・ソーシャルワーク専門職協会 (SLAPSW)

事務局長 M. G. ウパリ



[→ More images for floods in Sri Lanka](#)

[Report images](#)